

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

輝く笑顔 学ぶ意欲 あふれる学校

肯定的な学習集団の育成、自己有用感を高める指導の充実

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学力向上の基盤となる授業規律の確立
 - (1) チャイム始業、チャイム終業を徹底する。
 - (2) 家庭や学校での学習規律や生活規律についてまとめた「芝川スタンダード」を保護者に周知する。
- 2 校内研修の充実を図り、教師の授業力向上に努める。
 - (1) 問題や課題、主発問、板書の工夫改善、学習過程や教材教具等の工夫改善に努める。
 - (2) 各学年1回以上の研究授業を実施する。
 - (3) 11月20日(火)に「互いに学び合い、認め合い、高め合う児童の育成～個から集団へ、集団から個へ～」を研究主題に、研究発表を行う。
- 3 全国学力・学習状況調査(6年)とさいたま市学習状況調査(3～6年)の結果の分析と活用
 - (1) 全国学力・学習状況調査の分析を行い、課題と改善方法を教員間で共有する。
 - (2) 各担任がさいたま市学習状況調査の分析を行い、課題と改善方法を検討する。
- 4 家庭・知育と連携した学習環境の整備
 - (1) 家庭学習の手引きの作成について校内研修部で検討を行う。
 - (2) PTAと連携し、学習ボランティアの募集を行う。

＜昨年度の振り返り＞

- 学力向上の取り組みにより、職員全体の学力向上の意識を向上させることができた。次年度も、児童の学力向上の基盤となる教員の指導力向上に継続して努めていきたい。
- ▲グローバル・スタディ科におけるモジュール授業の導入により、朝のパワーアップタイムの時間の確保が困難になった。パワーアップタイムの代わりとなる手立てを考えて行く必要がある。
 - ▲全国調査の活用は継続して行うことができている。次年度は、市の調査を分析し、各学級で課題と改善策を考えたい。